

最新の舗装技術などを学んだ。

冒頭、愛知県アスファルト

理ICT技術とカーボンニュートラルへの取組み。

台材協会の櫻井正典技術管理委員会担当理事は「原油価格高騰や担い手不足などが課題となる。継続的な成長につながるよう講習の内容を役立ててほしい」とあいさつした。

発表者と講習内容は次のとおり（敬称略）。

▽舟橋邦顕（中部地方整備局道路部道路管理課長） 〓道路をめぐる最近の取り組み。

▽橋本靖彦（リーゲルジャパンシニアプロダクトマネージャー） 日南茂雄（アクテイオ道路機械事業部ICT営業部次長） 〓舗装工の出来形管理・ICT切削について。

▽赤堀良介（愛工大工学部社会基盤学科教授） 〓近年の水害に関するトピックスと対策・対応に際しての意識。

▽平山佳幸（東洋スタビ営業課長）、吉田昭二（同社技術課長） 〓スタビライザを用いた出来形管

最新の舗装技術学ぶ

愛知県アスファルト

愛知県アスファルト台材協会（難波陽一会長）と日本道路建設業協会中部支部（山縣裕支部長）は11日、名古屋市の名古屋ガーデンパレスで2024年度アスファルト舗装技術に関する講習会を開いた。〓写真。約140人が受講し、最

